

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2021年			
9月 14日(火)～15日(水)	第24回日本水環境学会シンポジウム	オンライン	本号
15日(水)	日本水環境学会50周年記念講演会 ～主要トピックから水環境50年の歴史を振り返る～	オンライン	本号
18日(土)	日本水環境学会関東支部 2021年度特別講演会「脱炭素と水環境」	オンライン	本号
20日(月)	第16回人工湿地ワークショップ Online 2021 ～人工湿地によるSDGs～	オンライン	本号
23日(木)	化学工学会第52会秋季大会 シンポジウム「サーキュラーエコノミーを推進する化学工学」	岡山・ オンライン	44巻8号
25日(土)	第58回水環境フォーラム山口	オンライン	本号
10月 14日(木)～15日(金)	第34回日本吸着学会研究発表会	オンライン	本号
17日(日)～21日(木)	9th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2021 2023年に延期	高雄(台湾)	
11月 9日(火)～11日(木)	第18回世界湖沼会議(WLC18)～より良い社会に向けた湖沼 のガバナンス・回復力・持続可能性～	オンライン	本号
2022年			
3月 16日(水)～18日(金)	第56回日本水環境学会年会	富山	本号
9月 11日(日)～15日(木)	IWA World Water Congress & Exhibition 2022	コペンハーゲン	本号

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

本会関連行事

第24回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第24回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領でオンラインにて開催いたします。

1. 概要

期日：2021年9月14日（火）～15日（水）

会場：オンライン

2. 内容：

日本水環境学会 50周年記念講演会

～主要トピックから水環境50年の歴史を振り返る～

15日（水）午後

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

14日（火）9:00～12:30

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

14日（火）17:10～17:50

表彰式（博士研究奨励賞，年間優秀論文賞）

14日（火）18:00～

表彰式（学術賞，論文賞，論文奨励賞，技術賞）

15日（水）17:10～

環境省：環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

報告講演会 14日（火）14:30～15:20

研究委員会セッション

14日（火）午前（9:00～12:30）

環境汚染物質分析へのMS技術の応用

（MS技術研究委員会）

いま、改めて流域の物質動態を理解する

（流域物質動態とノンポイントソース研究委員会）

陸から海へ：淡水・汽水・海水域の独自性と共通性

（汽水域研究委員会）

14日（火）午後（13:30～17:00）

アジア地域などの環境再生保全のためのSDGsを踏まえた技法展開の現状と展望（生物膜法研究委員会）

海産・汽水生物を用いたバイオアッセイによる安全性評価（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）

膜のリアリティー ～あの膜は今～

（膜を利用した水処理技術研究委員会）

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術

（電気化学的技術研究委員会）

熱帯亜熱帯地域の地域資源の利活用と水環境

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

水源水質に応じた浄水処理技術と給配水水質の管理

（将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会）

マイクロプラスチック研究の最新の知見

（マイクロプラスチック研究委員会）

15日（水）午前（9:00～12:30）

嫌気性技術の分野における課題解決に向けた研究開発

と現場での取組（嫌気性微生物処理研究委員会）

コロナを機に今、再び水環境を考えるーコロナがあぶり出したものー（身近な生活環境研究委員会）

世界の「微生物生態と水環境工学研究」へ

（微生物生態と水環境工学研究委員会）

下水疫学アプローチによる感染症流行モニタリングの最前線（水中の健康関連微生物研究委員会）

流域から湿地・沿岸域の動態・保全・再生と東京湾のいま（湿地・沿岸域研究委員会）

産業排水の処理・回収技術の最新動向

（産業排水の処理・回収技術研究委員会）

次世代農業と水環境の関わりを考える

（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

地域からの発信～新しい水環境指標を考える～

（地域水環境行政研究委員会）

／共催：全国環境研協議会

15日（水）午後（13:30～17:00）

紫外線水処理の可能性

（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）

3. 参加申し込み案内

研究発表を申し込まれた方は、必ず参加申し込みが必要です。WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(1) シンポジウム参加費（24回シンポジウム特別価格）*

	ダウンロード版のみ	冊子版有り
本会会員	3,500円	4,500円
学生会員	2,000円	3,000円
非会員	14,000円	15,000円
学生非会員	5,000円	6,000円

*今回は特別料金を設定しています。講演集はダウンロード版として提供します。「冊子版有り」で申し込まれた方には、開催後に冊子版をお送りします。

(2) 参加証／講演集引換券の送付

お申し込みの方には、ご入金を確認後メールにてお知らせします。また、そのメールにオンライン開催およびダウンロード版講演集に関する情報へのアクセス方法が記載されています。

4. 連絡・問合せ先

（公社）日本水環境学会 シンポジウム係

東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：nenkai@jswe.or.jp

日本水環境学会 50周年記念講演会 ～主要トピックから水環境50年の歴史を振り返る～

本会の機関誌である水環境学会誌では、特集企画として、その時々が高い関心が寄せられている水環境に関するトピックを取り上げ、その動向等の情報を提供しています。このたび、学会設立50周年記念事業の一環とし

て、これまでの特集企画の内容をまとめ、「水環境学会誌でたどる水環境史」という題名で電子出版することとなりました。

本講演会では、その出版に合わせて、1970年代からおよそ10年単位で社会的に大きな関心や反響を呼んだ水環境に関する4つのトピックを取り上げ、当時の状況を振り返りつつ、その後の経過や関連する研究分野の現在の動向などについて、それぞれをご専門とする先生に講演いただく特別講演会を企画いたしました。水環境に関わる研究者や技術者の社会における役割を考えるとともに、関連する研究分野の進展や展望について、トピックごとにまとめた情報を得る貴重な機会となれば幸いです。

講演者の先生方には、次世代を担う若手研究者への熱い思いも込めて、該当テーマを振り返っていただきます。

主 催 公益社団法人日本水環境学会 設立50周年記念行事・出版準備委員会

期 日 2021年9月15日(水) 13:30~17:00

開催形式 オンライン会議システム(Zoom)を使用したLive配信方式

13:30-13:35 主催者挨拶

13:35-14:20

1970年代:「湖沼のアオコ」半世紀の研究軌跡とこれから

国立環境研究所客員研究員 高村 典子

14:20-15:05

1990年代:飲料水を介した感染症3事例の教訓

国立保健医療科学院主任研究官 秋葉 道宏

15:20-16:05

2000年代:環境ホルモンとプラスチック汚染

東京農工大学教授 高田 秀重

16:05-16:50

1980年代:有機塩素化合物等による土壌地下水汚染と対策

和歌山大学名誉教授 平田 健正

16:50-17:00 閉会挨拶

申込・お問い合わせ先:

(公社)日本水環境学会

E-mail: seminar@jswe.or.jp Tel: 03-3632-5351

第56回日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第56回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諾否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概要

内 容 一般研究発表

(口頭発表とポスター発表のセッション)

期 日 2022年3月16日(水)~18日(金)3日間

会 場 富山大学五福キャンパス

(〒930-8555 富山市五福3190番地)

(COVID-19の状況によっては、オンライン開催等に変更になる可能性があります)

交 通 JR富山駅から市内電車で約15分、大学前下車、徒歩約5分、バスで約20分、富山大学前下車すぐ

富山空港(from札幌,東京)からJR富山駅までは空港バスで約25分

2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果

応募資格 本学会員に限ります。

登壇資格 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)は正会員(個人正会員,団体正会員)および学生会員とします。登壇予定者は2021年10月29日(金)までに、本会ホームページ(<https://www.jswe.or.jp/guest/entry.php>)より入会申し込み手続きを済ませてください。会費の入金が確認され、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申し込みはできません。学生会員は1年ごとの資格ですので、昨年度の会員の方も改めて入会申し込みが必要です。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者含む)となることはできません。

申し込み方法

- 1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ(<http://www.jswe.or.jp/>)の当該ページから第56回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。送信完了後に、受付番号が自動返信されます。パソコンの機種によっては、返信に時間がかかることがあります。1日以上たっても返信のない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性がありますのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。
- 2) 申し込み期限は11月18日(木)24:00です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。
- 3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は21で始まり最後にSのつく5桁の数字です。
発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力し

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/Middle classification フィールド、メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物、栄養塩類、懸濁物質、無機イオン、重金属、内分泌攪乱物質、農薬、微量化学物質、汚濁負荷、ポイント・ノンポイントソース、溶存酸素、界面活性剤、変異原性物質、アオコ、富栄養化、植物プランクトン、動物プランクトン、底質、汽水域、干潟、藻類、赤潮、貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/watershed management	水資源、循環利用、地下水、排出負荷測定、排出源推定、排出負荷削減、水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝、魚類、水生植物、海草、海藻、生物濃縮、食物連鎖、藻場、ベントス、微生物生態、生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標、理化学的指標、生物指標、健康関連微生物、環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質、生態系、流出、浄化予測、汚濁負荷推定、水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化、浄化機構、富栄養化、水理、水文、直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrofication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化、局地的豪雨、浸水/災害対策、渇水、調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス、生態系機能、自然資本、グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌、地下水、硝酸、揮発性有機化合物、重金属、ヒ素、水理、モデル、バイオレメディエーション、微生物、活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源、有機物、海水淡水化、重金属、微量化学物質、農薬、濁度、臭気物質、凝集沈殿、ろ過、吸着、オゾン、紫外線、膜、消毒、健康関連微生物、消毒副生成物、給配水、再増殖、気候変動、リスク評価、リスク管理、水質事故など	water source, organic matter, seawater desalination, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、膜分離活性汚泥法、生物ろ過法、生物活性炭、固定化担体、グラニュール法、UASB法、メタン発酵、嫌気性消化、凝集沈殿、ろ過、吸着、浮上分離、膜、オゾン、塩素、紫外線、電解処理、促進酸化処理、消毒副生成物、健康関連微生物、	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
		5	化学処理 chemical treatment		
		6	消毒 disinfection		
		7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
		8	人工湿地 constructed wetland		
		9	その他 others		
E	排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
		2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
		3	金属類 metals		
		4	塩分除去 desalting		
		5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
		6	その他 others		
F	排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
		2	工場排水 industrial wastewater		
		3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
		4	その他 others		
G	排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
		2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
		3	遺伝子解析 genetic analysis		
		4	その他 others		
H	排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment -wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
		2	省エネ・創エネ energy conservation/energy production	省エネ・創エネ、温暖化防止、メタ ン発酵、水素発酵、熱回収、微生物 燃料電池など	energy conservation, energy production, prevention of global warming, methane fermentation, hydrogen fermentation, thermal recycle, microbial fuel cell, etc.
		3	地球温暖化 global warming		
		4	微細藻類 microalgae		
		5	その他 others		
I	汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
		2	廃棄物処理 waste treatment		
		3	バイオマスエネルギー変換、バ イオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水, 河川, 地下水, 湖沼, 海域, 浸出水, 健康関連微生物, 細胞毒性, 変異原性, 水生生物, 生物濃縮, 生態系影響, リスク評価, 指標生物, DNA マイクロアレイ, 内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析, GC/MS 法, LC/MS 法, 簡易分析, センサー, 内分泌攪乱物質, 金属元素, 微量有機化学物質, 健康関連微生物, PCR 法, ハイブリダイゼーション法, バイオセンサー, 培養細胞, 水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー, コスト, LCA, 二酸化炭素発生対策, 気候変動, 温暖化防止, リスク管理, アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/overseas research 3 その他 others	環境保全活動, 環境学習, 地域参加, 環境計画, 地球環境, 文化交流, 技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観, 都市設計 landscape/urban planning 2 地域, 暮らし, 歴史, 伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観, 都市設計, デザイン, 暮らしと水, 親水, 行政, ホタル, 文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質, 挙動, 除去, 分析など 被害, 復旧, 自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A ~ P 以外 Others	1 その他 others		

注：2017 年度に中分類の変更があります。選択時にはご注意ください。
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

てください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

- 4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。最新の分類にしたがってください。
- 5) 発表形式の希望（口頭発表、ポスター発表、どちらでも可）を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載（コアタイム）になります。
- 6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申し込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。
- 7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名（フリガナ、漢字）の間違いについても十分ご注意ください。
- 8) 申込内容に間違いがあった場合、使用言語の変更を希望する場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jp に速やかにご連絡ください。
- 9) 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表は1演題につき15分（発表10分、質疑応答5分）を予定しています。
- 2) ポスター発表は年会開催期日の指定時間内に掲示いただきます。討議時間も予定しています。開催方法によっては、発表形式が変更になる可能性もあります。

年会優秀発表賞（クリタ賞）

博士前期課程（修士課程）の大学院生による研究発表のうち、特に優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表（2次審査）は年会2日目のみにおこなわれます。2次審査は審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）

学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生によるポスター発表のうち、特に優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみにおこなわれます。審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 第56回年会係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿（講演要旨原稿）を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚（図表も含む）とします。

提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

個人会員（会員専用ページ）：

(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員：

(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

提出期限 2022年1月20日（木）アップロード完了を

期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度（第50回）から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル（ダウンロード方式）版が標準になりました。講演集の公開日（発行日）は年会開催日の1週間前を予定しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 特別講演のご案内

下記の日程で特別講演を予定しています。

期日 2022年3月17日（木）15:15~16:15（予定）

参加費 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

7. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会第56回年会係

Tel : 03-3632-5351

E-mail : nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第56回日本水環境学会年会において、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程(修士課程)在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会優秀発表賞(クリタ賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法

- 1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。
- 2次審査 年会2日目にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録したE-mailアドレス宛にE-mailにより応募者全員に通知します。
- 2) 2次審査結果(受賞者)は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った方には、表彰式において参加賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(修了式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。
- 3) 1次審査を通過しポスター発表を行った方全員を懇親会へ招待します。

スケジュール概要(締切以降は受け付けません)

- 1) 2021年11月18日 応募締め切り
- 2) 2022年1月20日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 2022年2月上旬 1次審査結果の通知
- 4) 年会 2日目 ポスター発表による2次審査
- 5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

付記 年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞の博士前期課程(修士課程)修了者は、国際会議発表助成(クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定、2021年度はCOVID19の影響で募集締切を2021年12月31日に延長)の助成候補対象(40歳未満で応募年度の個人正会員または学生会員に限る)となります。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 年会優秀発表賞(クリタ賞)係
Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)」 候補者の募集

第56回日本水環境学会年会において、学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募

を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、学部生、高専生、短大生を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う大学学部、高等専門学校、短期大学在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 審査結果(受賞者)は、年会2日目昼に受付に掲示して発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(卒業式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。
- 2) 受賞者を懇親会へ招待します。

スケジュール概要(締切以降は受け付けません)

- 1) 2021年11月18日 応募締め切り
- 2) 2022年1月20日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 ポスター発表による審査
- 4) 年会 2日目 審査結果の発表
- 5) 年会 表彰式 受賞者の表彰と副賞の授与

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会
年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)係
Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

日本水環境学会関東支部 2021年度特別講演会 「脱炭素と水環境」

主催 日本水環境学会関東支部
期日 2021年9月18日(土)13~15時
場所 オンライン(Zoom)

プログラム

- ・開会挨拶(13:00~13:05)
- ・講演者紹介(13:05~13:10)
- ・講演 日本大学 森田弘昭先生(13:10~14:40)
- ・質疑応答(14:40~14:55)
- ・閉会挨拶(14:55~15:00)

参加申し込み方法 関東支部HPに掲載の申し込みフォーム(Googleフォーム)より

参加申込締切 9月17日(金)

参加費 無料

詳細 URL <http://www.jswe-kanto.com>

問い合わせ先

いであ株式会社 国土環境研究所 山崎甲太郎
〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕 2-2-2
Tel : 045-593-7604 Fax : 045-593-7623
E-mail : ymz20902@ideacon.co.jp

第 58 回水環境フォーラム山口

主 催 日本水環境学会中国・四国支部
共 催 全国環境研協議会中国・四国支部
山口県環境保健センター
期 日 2021 年 9 月 25 日 (土)
開催形態 オンライン会議システム (Cisco Webex) を
使用した Live 配信方式

プログラム (予定)

【講演】 10:00~15:35

○ 1 部

学生・職員・教員が共に考え活動する岡山大学 SDGs の
取り組み

岡山大学 准教授 宗村 広昭

SDGs と山口大学の貢献 - JICA での経験を踏まえて

山口大学 教授 富本 幾文

山口の沿岸と河川環境中のマイクロプラスチック汚染

山口大学 教授 関根 雅彦

○ 2 部

身近な海, 里海におけるブルーカーボン評価の試み (仮)

国立環境研究所 矢部 徹

山口県沿岸の藻場と養殖に及ぼす気候変動の影響 (仮)

水産大学校 准教授 阿部真比古

最新情報は以下詳細 URL をご参照ください。

参加申し込み方法 下記の詳細 URL よりお申込みください。(先着 200 名)

参加申込締切 2021 年 9 月 24 日 (金) 正午

参加費 無料

詳細 URL

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanno/mkfyimgc/58/>

問い合わせ先

第 58 回水環境フォーラム山口事務局
代表: 山口大学 神野有生
〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2 丁目 16-1
E-mail : kanno@yamaguchi-u.ac.jp

第 16 回人工湿地ワークショップ Online 2021 ～人工湿地による SDGs～

主 催 日本水環境学会東北支部人工湿地研究会

期 日 2021 年 9 月 20 日 (月)

内 容 オンライン開催

発表申込方法

希望セッション (事例報告 or 現場紹介) および演題を

8 月 22 日 (日) までに問い合わせ先にご連絡ください。

参加申込方法

氏名・所属・連絡先 (メールアドレス, 電話番号) を
9 月 12 日 (日) までに問い合わせ先にご連絡ください。

詳細 URL <http://jswetohoku.web.fc2.com/>

参加費用 無料

申込・問い合わせ先

日本大学工学部 中野 和典

Tel : 024-956-8719

E-mail : nakano.kazunori@nihon-u.ac.jp

IWA 関連行事

World Water Congress & Exhibition 2022 Copenhagen

主 催 The International Water Association (IWA)

期 日 2022 年 9 月 11 日 (日) ~15 日 (木)

場 所 デンマーク, コペンハーゲン

詳細 URL <https://www.worldwatercongress.org>

他学会関連行事

第 34 回日本吸着学会研究発表会のお知らせ

主 催 日本吸着学会

共 催 東北大学材料科学高等研究所, 多元物質科学研究
所

協 賛 化学工学会

会 期 2021 年 10 月 14 日 (木), 15 日 (金)

場 所 オンライン開催

プログラム 詳細 URL をご覧ください

申し込み方法 Web サイト (<http://www.j-ad.org>)
パスワード: gakkai34

参加申込締切 2021 年 9 月 30 日 (木) ※参加費支払いの
早期期限は 8/31, 最終期限は 9/30 です。

詳細 URL <https://www.j-ad.org/annual-meeting/>

問い合わせ先

第 34 回日本吸着学会研究発表会 実行委員会

東北大学材料科学高等研究所西原研究室 西原 洋知

Tel : 022-217-5627 E-mail : annualmeeting@j-ad.org

第 18 回世界湖沼会議 (WLC18)

～より良い社会に向けた湖沼のガバナンス・
回復力・持続可能性～

主 催 グアナファト大学・国際湖沼環境委員会 (ILEC)

協 賛 メキシコ グアナファト州政府・CONAGUA

期 日 2021 年 11 月 9 日 (火) ~11 日 (木)

場 所 オンライン開催 (オンデマンド配信あり)

プログラム 全体講演/式典, 各種分科会, ポスター発
表, 若手研究者発表, 大学オーケストラ, 表彰式, 他サ

イトイベントを予定，以下詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法 以下詳細 URL よりお申し込みください

参加申込締切 2021 年 11 月 7 日（日）

（早期登録：10 月 4 日（月）まで）

参加費 早期：95USD，通常：120USD，学生：35USD

詳しくは公式サイトをご参照ください。

詳細 URL www.worldlakeconference.ugto.mx/en/

問い合わせ先

公益財団法人 国際湖沼環境委員会 (ILEC)

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 番地

Tel：077-568-4579 Fax：077-568-4568

E-mail：wlc18@ilec.or.jp

お知らせ

2021 年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦，他薦は問いません。詳細は以下，学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2022 年 3 月の日本水環境学会第 56 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし，以下 1)～6) の必要事項を記入の上，7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお，評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名，連絡先住所，Tel 番号，E-mail アドレス
- 2) 活動概要（300 字以内）
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など（200 字以内）
- 5) 推薦者の推薦理由（500 字程度）
- 6) 推薦者の氏名，所属，住所，Tel 番号，E-mail アドレス（自薦も可）
- 7) 活動を示す資料（複数でも可。ただし，電子ファイル合計 40 ページ以内）

応募書類の作成に当たっては，当学会の支部にご相談いただけます。支部の連絡先は，以下，学会事務局にお問い合わせください。

提出期限 2021 年 10 月 5 日（火）（必着）

提出・問い合わせ先（学会事務局）

（公社）日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：info@jswe.or.jp

2021 年度「水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部（みじん子賞）は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年，年会開催予定地の地区から選出され，本年度は中部支部エリア（石川県，富山県，福井県，岐阜県，三重県，愛知県，静岡県）が対象となります。自薦，他薦は問いません。詳細は以下，学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2022 年 3 月の日本水環境学会第 56 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小学生，中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし，以下 1)～6) の必要事項を記入の上，7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお，評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名，連絡先住所，Tel 番号，E-mail アドレス
- 2) 活動概要（300 字以内）
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など（200 字以内）
- 5) 推薦者の推薦理由（500 字程度）
- 6) 推薦者の氏名，所属，住所，Tel 番号，E-mail アドレス（自薦も可）
- 7) 活動を示す資料（複数でも可。ただし，電子ファイル合計 40 ページ以内）
応募書類の作成に当たっては，当学会の支部にご相談いただけます。支部の連絡先は，以下，学会事務局にお問い合わせください。

提出期限 2021 年 10 月 5 日（火）（必着）

提出・問い合わせ先（学会事務局）

（公社）日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：info@jswe.or.jp

2021 年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は，水環境関連分野の学術の発展に功績があった，あるいは本会に対し特に功労があった満 70 歳以上の会員を，総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により，会員は名誉会員候補者を推薦できるこ

とになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2021年度「学会賞」、「学術賞」 の受賞候補者の推薦について（募集）

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（2021年度）において満60歳をこえる者
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書（2,000字以内）、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書（2,000字以内）、④参考資料等（論文、著作の一覧等）、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2021年11月30日（火）

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
（公社）日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係
E-mail：info@jswe.or.jp

2021年度「技術賞」および「技術奨励賞」候補者の 推薦について（募集）

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者（または団体）は、本学会誌に受賞者（または団体）名とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞も

しくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考させていただきます。なお、参考までに過去5年間の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧を掲載いたします。

●技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術（調査内容、方法）の新規性や実績（たとえば処理技術の場合には実機実績等）等を加味して総合的に判断されます。

●技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

- (1) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (2) 対象とする技術または調査研究名（40字以内）
- (3) 推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し、技術奨励賞では実用化への取り組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (4) 推薦者（氏名、住所、所属等）
- (5) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期間 2021年9月24日（金）～11月19日（金）

提出先

（公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係
E-mail：info@jswe.or.jp

[参考]

過去5年間の技術賞受賞テーマ

2020年：流動担体を用いた2槽式嫌気性アンモニア酸化処理の窒素除去技術
土壌・地下水汚染地盤を掘らずに省エネ浄化できる加温式高速バイオ浄化システム

平成28年：浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術

過去5年間の技術奨励賞受賞テーマ

2019年：水中3Dスキャナーを活用した水中可視化技術
水中の有機化学物質の迅速・簡易な分析前処

理技術

2018年：地域ネットワークを活用した化学物質の網羅モニタリングと統合的評価・管理手法に関する調査研究

平成29年：湖沼・河川および発生源における難分解性有機物の標準的分析手法の確立
高効率1,4-ジオキサン分解菌N23株を用いた連続回分処理技術

平成28年：下水処理施設由来の多元的環境負荷の統合評価手法

洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

技術賞および技術奨励賞の歴代受賞者

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）2021年度候補者の募集（募集期間および対象期間の変更）

過去の年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞者が研究者・技術者として一層の飛躍をするために、本学会またはInternational Water Associationが主催または共催する国際会議（バーチャル会議、日本国内での開催会議も含む）への参加・発表を助成します。

助成が認められた発表予定の国際会議がCOVID-19の影響により延期になった場合は、対象期間後の開催になっても助成資格が維持されます。

応募資格 本会個人正会員または学生会員（2021年度）で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去のクリタ賞受賞者
- 2) 年齢が40歳未満（2021年4月1日時点）
- 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成果を研究実施機関の在籍者の立場で発表すること

助成内容 会議での参加・発表にともなう費用の一部支援（旅費のみでなく、参加費、ProceedingsやAbstractの英文校閲にかかる費用等も含むことができます）

助成実績（1件当たり）：12.5～17.5万円

対象となる国際会議の期間 2022年1月1日から2023年3月31日（COVID-19の影響を考慮し期間を変更することがあります）

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

提出書類（書式は自由）

- ・応募者の氏名、所属、住所、Tel., Fax., E-mail
- ・大学卒業後の研究・業務略歴
- ・国際会議論文募集の内容が判る資料
- ・国際会議発表の申込書（申し込み時点の口頭、ポスターなど発表形式が記されていること、（案）でも可）

- ・発表予定の研究内容を記した書類（日本語でも可、発表申込時に提出するExtended abstractなど）

- ・発表採択通知（任意）

- ・クリタ賞を受賞した研究内容との関連、参加を希望する国際会議における抱負、会議参加の必要性、会議参加で得られる情報や経験を今後の業務にどのように活用する計画であるのか等を説明する文章（400字、A4一枚程度）

- ・過去3年の研究等の業績（下記項目に分類して）

- ① IWA関連雑誌論文

- ② 水環境学会誌、JWET論文

- ③ それ以外の雑誌論文

- ④ IWA関連国際会議論文

- ⑤ それ以外の国際会議論文

- ⑥ 日本水環境学会の年会、シンポジウム、WETの発表

- ⑦ それ以外の発表

- ・助成を希望する費目とおよその見積もり額を示した文書

応募期日 2021年12月末日（COVID-19の影響を考慮し期間を変更することがあります）

結果通知等 E-mailにより採否を通知予定です。授与式などはありません。ただし、助成が認められても、当該発表が採択されなかった場合には、その助成の資格を失います。（次年度以降に別の発表について応募することは可能です）

問い合わせ・書類提出先

（公社）日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成係
Tel：03-3632-5351

E-mail：kubota@jswe.or.jp（@は半角に変更）

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会（オンライン含む）の開催等。

助成金額 30万円（上限）

助成期間 2022年4月1日～2023年3月31日
(活動期間が2023年度にわたっても可)

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送(簡易書留)またはE-mail(kubota@jswe.or.jp)で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類 (書式は自由)

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績(主な発表論文リストや国際的な活動実績)(A4、1ページ程度)
- 活動の内容を示す計画書(目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度)
- 必要経費の概算書(活動全体にかかる経費(自己資金を含む)と本会からの助成希望金額を明記してください)

提出期限 2022年1月14日(金) 必着

提出先 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
(公社)日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会
(簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください)

E-mail(kubota@jswe.or.jp)での提出も可(件名に「水環境国際活動賞」と記載してください)

合否通知 選考結果については、2022年2月までに応募者に通知いたします。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

第43巻(A)12号特集「COVID-19タスク フォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」 別刷り配布のお知らせ

この度、第43巻(A)12号の特集企画編「COVID-19タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」の別刷を作成しました。本企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育、公益的な目的でのご利用を希望する会員へ別刷を無償配布いたします。別刷をご希望の方は①会員番号 ②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的(具体的に) ⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku@jswe.or.jp)にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、特集企画編「地環研の躍動」(第43巻(A)2号)、「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号)、「水環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 「助教の公募」

募集人員 助教、1名

所属 アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻

専門分野 アフリカ地域における自然科学、人文社会学

応募資格 (1) 博士号を有し、博士号取得後原則5年以内(2021年10月1日時点)であること。2021年度中に博士学位取得見込みの者を含む。(2) 日本語での執務能力を有すること。それ以外は以下詳細URLをご参照ください。

採用予定日 2021年11月15日以降のできるだけ早い時期。ただし、2022年3月末までに必ず着任すること。

応募方法 詳細URLの記載情報を参照して、必要書類を郵送またはEmailで送付ください。

応募期限 2021年9月24日(必着)

詳細URL <https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/news/kobo-africa2021/>

問い合わせ先

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
Tel: 075-753-9603
E-mail: 430asafaskoubo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

国立環境研究所「自然との共生を目指した琵琶湖 流域圏の管理に関する研究員の公募」

募集人員 テニユアトラック型任期付研究員、1名

所属 国環研・生物多様性領域または地域環境保全領域

専門分野 生態学、陸水学、自然地理学、水理・水文学、生物地学、環境工学などの生物多様性・物質循環に関連する分野

応募資格 採用時に博士の学位。生物多様性保全や水環境保全管理に関する政策や社会動向への十分な理解。ステークホルダーと協働した研究の遂行と社会実装を行う強い意欲。日本語および英語のコミュニケーション能力。以下詳細URLをご参照ください。

採用予定日 2022年1月1日以降、できるだけ早い時期。

応募方法 電子送付。郵送希望の場合、詳細URL参照を参照。

応募期限 2021年9月30日(木)

詳細URL <https://www.nies.go.jp/osirase/saiyo/r03-rt-03.pdf>

問い合わせ先

国立環境研究所・生物多様性領域長・山野博哉
〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2
Tel/Fax: 029-850-2477/2577
E-mail: hyamano@nies.go.jp

鹿島学術振興財団

2022年度研究助成事業助成の学会推薦について

対象分野 (1) 都市・居住環境の向上 (2) 国土・資源の有効利用 (3) 防災・危機管理の推進 (4) 文化・自然環

境の保全

応募資格 指定する推薦機関に所属する「常勤の研究者」
または常勤の研究者から構成される研究グループ

助成金額 1件300万円を上限とし、2021年度採択予定
額は総額6,300万円とする。

研究期間 1年または2年

応募方法 学会推薦を要します。応募を希望される方は
本会事務局にお問い合わせください。本会への申請書類
の提出期限がございますのでご注意ください。

当会応募締め切り 2021年10月18日(月)必着

詳細 URL [https://www.kajima-f.or.jp/grant-projects/
research-grant/](https://www.kajima-f.or.jp/grant-projects/research-grant/)

問い合わせ先 公益財団法人 鹿島学術振興財団
<https://www.kajima-f.or.jp/contact/>

鹿島学術振興財団
2022年度国際共同研究援助・
国際研究集会援助の募集

1. 国際共同研究援助

募集締切 2021年11月20日(土)

援助対象 我が国と海外の大学等研究機関の研究グルー
プによる共同研究に対して研究費を援助する。

援助期間 1年または2年

金額 最高1,000万円/件(3件程度)

応募方法 財団HPより(詳細URL参照)

2. 国際研究集会援助

募集締切 2021年11月20日(土)

援助対象 我が国で開催される学術的専門家・研究者の
参加する中小規模の国際会議の費用を援助する。

援助金額 原則50万円/件(28件程度)

応募方法 財団HPより(詳細URL参照)

詳細 URL <https://www.kajima-f.or.jp/grant-projects/>

問い合わせ先・問合せフォーム

公益財団法人 鹿島学術振興財団

<https://www.kajima-f.or.jp/contact/>

JST 令和3年度採択 日本－米国研究交流
「災害レジリエンス」公募開始のお知らせ

研究領域 SDGsや仙台防災枠組の優先行動に即し、人
間中心のデータを活用したレジリエンス研究

委託研究期間 約1年間

予算規模 1課題につき日本側研究チームはJSTから総
額上限1,000万円(直接経費の30%に当たる間接経費込み)

採択予定数 5件程度

募集締切 2021年9月27日(月)12:00(正午,日本時間)

詳細 URL [https://www.jst.go.jp/inter/program/annou
nce/announce_us_NSF2021.html](https://www.jst.go.jp/inter/program/announcement/announce_us_NSF2021.html)

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

国際部 事業実施グループ 米国担当

Tel: 03-5214-7375

E-mail: jointus@jst.go.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム(J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>